



LIMEX とは、石灰石を主原料とし、紙・プラスチックの代替にもなり、持続可能な社会に貢献する日本発の新素材。

○ LIMEX 三つの特徴

<p>- 主原料は石灰石 -</p> <p>主原料 (50%以上含む) となる石灰石は世界にほぼ無尽蔵に存在、日本においても自給率100%を超え、安価に入手可能な鉱物資源</p>	<p>- 資源枯渇問題へ貢献 -</p> <p>水をほぼ使用することなく紙代替製品、石油由来成分を抑え、プラスチック代替製品を製造可能</p>	<p>- 環境問題へ貢献 -</p> <p>二酸化炭素の発生を抑え、気候変動の抑制に貢献循環・再利用し続けることでゴミを減らしマイクロプラスチック問題へ貢献</p>
---	---	--

○ LIMEX のラインナップ

LIMEX	石灰石 80~50% *	PP,PE (石油由来樹脂) 20~50% *	<p>印刷物→アップサイクル</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石油由来樹脂の使用量削減 アップサイクルによる再製品化が可能 	アップサイクル可能
Bio LIMEX	石灰石 80~50% *	バイオPE (サトウキビ) 20~50% *	<p>レジ袋/ショッパー/ごみ袋</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石油由来樹脂の使用量をさらに削減 (石油由来樹脂フリー) カーボン・オフセット活動 	
Bio+生分解性 LIMEX	石灰石 80~50% *	バイオ由来生分解性素材 20~50% *	開発中	<ul style="list-style-type: none"> 石油由来樹脂フリー カーボン・オフセット活動 コンポスト環境において、水と二酸化炭素に生分解 (海洋分解性は伴わない) 	

○紙代替製品

名刺、会社案内、ポスター、チラシ、飲食店メニュー、封筒、環境統合レポートなどの各種ツールを LIMEX シート製に置換え



○プラスチック代替製品

食品トレー、アメニティ製品、ショッピングバッグ、クリアファイルなどの従来のプラ製品を LIMEX 樹脂での製造に置換え





○ LIMEX 素材を使った開発事例

1. 石井食品・LIMEX フィルムを使った食品包装を開発

環境負荷軽減に向け、2022 年を目途に「ミートボール、ハンバーグ」の包装を LIMEX 製に全面切替。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000090.000016815.html>



日本経済新聞

石井食品、包装を石灰石材料に
食品大手の石井食品がハンバーグやミートボールのプラスチック包装をやめ、新素材を採用する。2021年12月までに、同社売上高の8割超となる10製品について、すべてTBM（東京・中央）の石灰石由来の素材「ライメックス」に切り替え。年間約230トンのプラスチックを削減できる見込み。ライメックスは石油由来のプラスチックと比べて二酸化炭素(CO₂)排出などの環境負荷が低い。

2. BANDAI SPIRITS のプラモデルに LIMEX を採用

環境負荷軽減を目指し、2021 年に一部のプラモデル製品に LIMEX を採用。

<https://hobby.dengeki.com/news/1149880/>



3. その他の開発品

日用品から建築資材まで、多様なプラスチック代替製品を LIMEX 樹脂から製造。



ボールペン(三菱鉛筆)

ペンの軸材にLIMEXを採用
LIMEX シートを製造する際に発生する端材を再利用



アメニティ(JTB商事)

コームや歯ブラシなどのアメニティグッズを全国の宿泊施設へ販売開始



OAフロア(アイリスオーヤマ)

環境負荷を抑えた建材製品を製品化
建築資材として初めての導入



鉢(アートグリーン)

従来素材の鉢と比較して、石油由来プラスチックの使用量を削減